

萩

ネットワーク

第74号 2007年3月

発行:萩ネットワーク協会
〒758-8555 山口県萩市大字江向510 萩市役所広報課内
TEL0838・25・3178 FAX0838・26・5458
萩ポータルサイト「萩・情報の駅」
<http://www.city.hagi.yamaguchi.jp/portal/>

主な目次

ふるさと文学散歩⑦ 国木田独歩と萩	P4
ズームアップ「大賀 進」	P5
萩商業 故・瀬上進先生	P9
夢追人「内村幹雄」	P12

3月24日、長年の懸案であった椿・金谷と土原を結ぶ国道262号バイパスが開通します。

萩有料道路から、金谷神社や御許町の交差点を直角に曲がることなく、ほぼ一直線に市街地に入り、松陰大橋を渡って松陰神社に、そこから一直線に萩しーまーとに行くことができます。萩の車の流れが大きく変わろうとしています。

萩の車の流れが変わる

国道262号バイパス開通



萩の中心道路

国道262号バイパスが開通

萩の玄関口、萩有料道路から市街地を一直線に結ぶ「国道262号バイパス」がいよいよ3月24日に開通します。

御許町の渋滞緩和を図るために平成5年から工事が進められてきたこのバイパスは、樺の中国電力萩営業所付近から樺大橋（長さ約151m）を通って萩警察署前交差点（土原）までを結ぶ長さ1.9km、片側2車線の道路で、総事業費は約11.3億円。

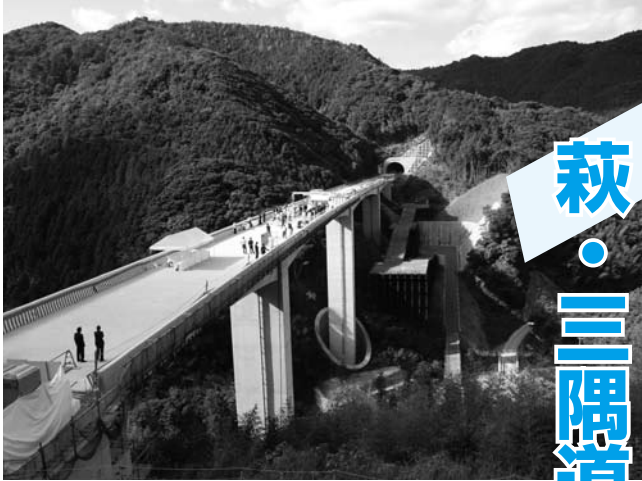
川島の旧・酔月の跡地には観光バスも入られる駐車場も設置され藍塩川の景観地区への観光客のアクセスも容易となります。

昨年10月には、県道萩川上線が開通し、萩しーまーと付近の交通渋滞が解消され、さらに萩・三隅道路の明石〜三隅間が来年3月には完成予定です。萩を縦断する中心道路の開通が、萩の活性化の起爆剤となることが期待されます。



指月山を背に、川島の遊歩道から見る樺大橋

萩と長門の市境に建てられた飯井第一橋（長さ 302 m）



萩・三隅道路

三見明石〜三隅間7.1km 来年3月 供用開始！

長門市三隅〜萩市樺間で整備が進められている「萩・三隅道路」の三見明石〜三隅間7.1km（平成8年から工事に着手）が、1年後の平成19年度末に供用開始されます。

現在、トンネル7か所、橋りょう5か所が工事が進められ、三見〜萩（樺）間については、国体山口県で開催される平成23年度の供用開始を目指しています。

育英小学校の新校舎完成



昭和31年に建てられ、51年間多くの児童を送り出してきた育英小学校が、老朽化のため新校舎に建て替わります。昨年2月から改築工事が進められ、3月18日に竣工式。鉄筋コンクリート造2階建、延床面積2633㎡で、総事業費は約6.5億円。育英小学校は、明倫館などとともに山口県内で古い歴史を持つ郷校育英館が前身で、明治6年（1873）に須佐小学校として開校した伝統校（明治17年に育英小学校に改称）。

消防署佐々並分遣所が完成



佐々並地区の旭活性化センター前に、高規格救急車（救命士が同乗し、高度医療ができる車両）を配備した萩市消防署佐々並分遣所が建てられます。建物は鉄骨平屋建てで、総事業費は約9500万円。3月31日に竣工式。萩市の救急車は、萩市消防署（江向）のほかに弥富出張所と紫福分遣所に配備されていますが、佐々並地区は救急車が到着するまでに時間がかかるため、地元住民から分遣所の設置が強く要望されていました。この分遣所は一小隊10人が交代で常駐し、緊急時に備えます。

「萩城・城下町と明治維新遺跡群」「九州・山口の近代化産業遺産群」

世界文化遺産暫定リスト継続審議

世界文化遺産の国内暫定リストへの追加掲載を目指し、萩市が昨年11月に山口県と共同で提案した「萩城・城下町と明治維新遺跡群」と九州5県や山口県などと共同で提案した萩反射炉を含む「九州・山口の近代化産業遺産群」は、1月23日文化庁文化審議会文化財分科会の審議の結果、2件とも掲載が見送られ、継続審査案件となりました。継続審査案件は、提案内容を検討、改善すれば適当となり得ることから、野村萩市長は「今後も精査・検討を重ねていきたい」とコメント。特に後者の産業遺産群については、2月3日に萩市で「世界遺産萩シンポジウム」が開催され、英国の産業遺産の世界的権威者であるニール・コソン卿らの講演などで産業遺産群の高い評価を受けています。

今回、追加掲載が決まったのは、富岡製糸城と絹産業遺産群（群馬県）、富士山（山梨・静岡県）、飛鳥・藤原の宮都とその関連遺産群（奈良県）、長崎の教会群とキリスト教関連遺産（長崎県）の4件。

昨年12月にオープンした萩本陣の温泉「湯の丸」



3.4%増の141万人 観光客 4年ぶりに増加

萩市観光協会がまとめた昨年1年間の萩市の観光客数は、141万529人で前年に比べ3.4%（4万6884人）増加しました。宿泊客も

43万8650人で4.8%増となり、いずれも4年ぶりの増加になりました。

同協会は、一昨年に開湯したはぎ温泉の浸透、椿まつり期間中の好天、8月の小泉首相（当時）の来萩、11月の国民文化祭の開催などがプラス要因と分析しています。このほか、映画「長州ファイブ」の先行上映や10月に初めて開催された「着物ウィーク in 萩」、12月にオープンした萩本陣の温泉「湯の丸」なども増加に貢献。

今年、1月5日に開花宣言した笠山椿群生林に連日多くの観光客が訪れており、好調なスタートを切っています。

映画「長州ファイブ」

山口県内の観客動員 3万5000人

「出だし」と話しています。

昨年10月27日から山口県内で先行上映されていた映画「長州ファイブ」の動員数が3万5000人を突破しました。

先行上映後、口コミで評判が広がり、上映期間を延長する映画館も出るなど、息の長いヒット作になりました。

2月10日から東京・大阪・名古屋・広島などで始まった全国公開では、上映後2週間で動員数が約9000人にとぼり、製作委員会の前田登委員長は「地方映画としては

映画「長州ファイブ」

幕末期、英国に密航し、近代日本の礎を築いた長州藩の5人の若者たち（伊藤博文、井上馨、遠藤謙助、山尾庸三、井上勝）を描いた青春群像。



2月10日から全国公開中！

■上映中の映画館

- 【東京】シネマート六本木、シネマート新宿、立川シネマシティ、ワーナー・マイカル・シネマズ板橋 【千葉】千葉京成ローザ10 【埼玉】MOVIX三郷 【愛知】安城コロナシネマワールド、中川コロナシネマワールド 【大阪】シネマート心斎橋、MOVIX堺 【京都】新京極シネラリーベ 【広島】広島バルト11 【鹿児島】鹿児島ミッテ10 【宮城】仙台コロナシネマワールド
- 【三重】四日市中映シネマックス(3/3) 【茨城】水戸リードシネマ(3/17) 【北海道】スカイシネマプレックス札幌劇場(3/17) 【長野】佐久Amシネマ(3/31) 【兵庫】三宮シネフェニックス(3月) 【岐阜】大垣コロナシネマワールド(4/7) 【神奈川】小田原コロナシネマワールド(4/7) 【青森】青森松竹アムゼ、シネマヴィレッジ8・イオン柏(4/7) 【秋田】秋田駅前シネパレ1(5/12) 【愛媛】アイシネマ今治(5/12)

■3月以降上映する映画館

国木田独歩と萩



秋山家にある独歩の寄宿舎での集合写真
(前列左から2人目が独歩、その後ろが秋山貞一氏)



秋山家(南古萩、向かい
は青木周彌旧宅)

う(桑原伸一「独歩―山口時代の研究」)。独歩6歳の頃のこ
とだ。

専八は、その後広島、岩国、山口、萩、柳井等に転任し、明治18年7月から3年3か月を一家は萩市で過ごした。このとき専八は本籍地を竜野町から萩市に移しており、最初は「山口県長門国阿武郡萩瓦町第二十八番屋敷」の寓居を本籍地として届けている(川岸みちこ編「國木田独歩年譜」)。やがて萩市南古萩一番地、即ち江戸屋横丁の現秋山家の離れに移り住んだという。時代は伊藤博文が初代総理大臣に就き、維新政府は新秩序の確立と富国強兵を国是とした時期であった。萩城下町の木戸孝允旧居や青木周彌旧居などが並ぶ昔ながらの景観の一角(写真、五石取りの小川兵助旧居が秋山家である)。

現当主秋山宇一郎(66)は独歩と祖父貞一が袴姿で一緒に写った写真を示しながら「独歩のことは祖父貞一の話として父俊輔や叔母の文子から聞いています。祖父と独歩は山口中学の寄宿舎生活を一緒にして随分仲が良かったようです。それで貞一が空いていた実家の離れを独歩一家に世話したのだということ。仲の良さは祖父貞一が学制改革を機に陸軍士官学校を受験しようと山口中学を中

た部屋で訥々と話す。

因みに秋山貞一は陸軍工兵中佐で退役したあと、彫塑に才能を発揮し、吉田松陰座像等を制作し、松陰神社や萩市に寄贈している。独歩はこの時期15、16歳で寄宿舎にいたから萩での生活感の薄かったとみえ、萩を主題とした作品は見あたらない。それでも後年、岩国時代の学友をモデルに、場所を山口に移して描いた作品「画の悲しみ」の中に萩の詩情を表現している。

「この某町(山口町)から我村落(萩町)まで七里、若し車道をゆけば十三里の大迂回になるので、我々は中学校の寄宿舎から村落に帰る時、決して車に乗らず、夏と冬と定期休業毎に必ず、この七里の途を草鞋で歩いてきたものである。七里の途はただ山ばかり、坂あり、谷あり、溪流あり、淵あり、滝あり、村落あり、児童あり、林あり、森あり、寄宿舎の門を朝早く出て日の暮れに家に着くまでの間、自分はこれらの形、色、光、趣をどういふ風に書いたら、自分の心を夢のように鎖ざしている謎を解くことが出来るかとそれのみに心を奪われて歩いた」とある。独歩は帰省の都度、山口から萩まで往還道を往復していたことになる。

知られている。自然主義をとくに先駆けた田山花袋は終生の友であった。独歩は防長の気風を感じて育っているから松陰への憧憬は内発的だと思いがちだが、実は独歩と松陰を結んだのは蘇峰なのだ。「独歩は蘇峰の影響で吉田松陰に傾倒することになる」(中島健蔵「國木田独歩論」)。その傾倒ぶりは尋常ではなく松陰の書を読み漁ったばかりでなく、松下村塾に倣って田布施では、波野英学塾を始めるなど行動的でもあった。松陰と交わりながらも破天荒な人生を送った富永有隣に面会したのもこの頃である。有隣の印象がよほど強烈だったとみえ独歩晩年の作品「富岡先生」として結実する。

独 歩は山口県が第二の故郷であると述べているが、それを裏付けるように防長の自然と人とを巧みに取り入れた作品は多い。柳井市の高台には独歩の寓居が保存されている。各地に記念碑があり「独歩めぐり」するのも楽しいかも知れない。

山口の亀山公園に独歩吟「自由の郷」の中から「山林に自由存す」の碑。岩国では錦帯橋畔の吉香公園に「欺かざるの記」の中から「岩国の時代を回顧すれば恍として更に夢の心地す」の碑。柳井市観光案内所前には「読書の戒め」の碑がある。さ

国 木田独歩は自然主義派の文豪としてその作品は今

なお多くの人に読み継がれている。作品の背景に、見聞した事物や実風景を巧みに取り入れ、効果的に使うことでも知られる。

独歩は明治4年(1871)銚子市に生まれた。父専八は旧藩時代竜野脇坂藩の藩士だったが新政府の司法省に出仕したことから転勤族となり、任地が山口裁判所となった明治9年2月

「武蔵野」「源叔父」などの叙情的な作品や富永有隣をモデルにした「富岡先生」など、伶俐な洞察力を柔らかい語調で綴った作品など、いずれも味わい深い。

その国木田独歩親子が萩の地と関わりが深いというのは面白いことだ。

から一家は山口町に移り住んだ。専八が萩と初めて関わりをもったのは「萩の乱」である。この年の10月末、前原一誠らが決起して萩の乱が起きた。間もなく鎮圧されたが、独歩の父専八は乱の後始末のために設けられた萩臨時裁判所の書記として11月からその任にあたったのだとい

退した際、独歩も一緒に中退して上京したことでもうかがえませぬ。座敷に面した広い敷地には帰省した独歩も眺めたであろう木々が冬の日差しを浴びている。「離れが壊され、資料写真もこれ一枚ですから、今では語り伝えるだけです」と宇一郎は山県有朋や田中義一の扁額の掛かっ

独歩の生は、旺盛な創作と過激な恋愛と思いつきとも見える事業に挑み続けた37年の短いものであった。しかし交友関係は広く、どの時点でも交わりは深い。とりわけ徳富蘇峰との出会いは貴重だ。若き日の生活苦を蘇峰とその友人矢野龍溪が多面的に支援したことは

らに田布施町別府の海岸近くには「山林に自由存す」の結句を刻んだ詩碑が、平生町には「帰去来の田布路木峠」の石碑が建っている。

今回は「富岡先生」について綴ってみたい。

(高井 誠 エッセイスト
日本ペンクラブ会員)

おさがすすむ 大賀進氏

萩商工高校卒業後、出光興産(株)に入社、平成17年に勤続44年で同社役員を退任された大賀さんにお話をお聞きました。



(神奈川県川崎市在住 64歳)

三つの「現」を重視すること。問題が発生したときに、机上で判断するのではなく、現場で不具合の起きた現物を見て、どのような状態であるのか(現実)を確認することで解決を図ることを言います。この言葉が、その後の自分自身のモットーとなりました。

退職後、取り組んでいること

44年間の会社生活で身体も相当に参って、またまた地震当日は東京本社に出張中、急いで戻らねばと長野市までJRを乗り継ぎ、長野から先は救援物資のトラックと一緒に早朝4時すぎに被災地入りしました。新潟県知事も東京出張中で、パトカーを飛ばして新潟に着いたのが4時半、知事よりも早く現地入りしたと自負しています。

退職後は自分の好きなことに徹したいと心に決めていましたので、山登り・海釣り・家庭菜園・囲碁に絞って、楽しんでいきたいと思っています。登山では百名山を目標にしています。現在29山なので、まだまだ沢山

今、萩では「萩まちじゅう博物館」をコンセプトに、町おこしが進んでいると聞いています。ただ単に史跡や旧跡を見せるという目線から、史跡や偉人達が発するメッセージを現代の人々に伝えていくという視点に転じていけないものかと思えます。

例えば史跡等の説明看板、昨年の五十三次ウォークでも感じましたが、説明が不親切であったり、難解な文章で書かれていたり・・・大切なことは、この史跡や歴史上の人物が、現代人にとってどのようなメッセージを持っているのかということ

プロフィール 1943(昭和18)年3月、旧田万川町中小川生まれ、64歳。神奈川県川崎市宮前区在住。中小川小学校、小川中学校、萩商工高校(商業科)卒。昭和36年4月出光興産株式会社入社、平成4年北陸支店長就任以来、中国支店長、関西支店長、関東第一支店長を歴任し、平成10年に取締役就任。平成15年常任監査役に就任、平成17年に退任。現在、たちばな会の関東支部長ほか各種団体の世話役を務める。

萩で過ごした頃の思い出

高校の3年間、江向、寺町に下宿していました。特に寺町に住んでいた頃は、菊ヶ浜が近く、仲間とソフトボールをしたり、お堀の橋の上からダイビングしたりと、懐かしくそして楽しい思い出です。

出光興産(株)勤務時の印象深い出来事

昭和39年に新潟地震がありました。当時は新潟支店に勤務し

ており、たまたま地震当日は東京本社に出張中、急いで戻らねばと長野市までJRを乗り継ぎ、長野から先は救援物資のトラックと一緒に早朝4時すぎに被災地入りしました。新潟県知事も東京出張中で、パトカーを飛ばして新潟に着いたのが4時半、知事よりも早く現地入りしたと自負しています。

その後の復旧対応も含めて、この時に「三現主義」の重要性を身を持って学びました。三現主義とは、現場・現物・現実の

萩に新名物登場!

ふぐの女王 真ふぐ

3月25日

に初めて萩の真ふぐ祭り



(右) 萩越ヶ浜延縄漁の漁師さん。後列右が、船団長の吉村さん
 (左上) 握り寿司/爽やかな味の逸品です
 (左中) ふぐ刺し/ふぐ料理の定番(薄造り)
 (左下) 焼白子/お宝とも呼ばれる真ふぐの白子



▶真ふぐ活魚。
 延縄漁で1匹ずつ釣り上げ、
 活きたまま港に水揚げされる

フグ科マフグ。トラフグと同じ科に分類される近縁種で、食味もトラフグと比べて遜色無し。しかも標準和名には「本当の」を意味する「真」が付きながら、トラフグ神話の陰で、生食されることは少なく、主に加工品の材料として取引されるなど、過小評価されてきた天然フグです。

萩市は、フグ漁の歴史が古く、現在も山口県の天然フグの大半を漁獲しています。真ふぐ漁は2月から4月が最盛期で、萩・越ヶ浜の延縄船団で1シーズンに約300tが水揚げされています。体表に細かい棘が無く、滑らかなことから、地元では「なめらふぐ」の地方名。身の色が優しい「鮎色」で、深い旨みがあり、地元漁師さんの中には「味の点ではトラフグより、マフグが勝る」とおっしゃる方も少なくありません。真ふぐの味の良さを知る漁家では、ふぐ刺身はもちろん、ちり鍋や唐揚として古くから賞味されてきました。

トラフグが「フグの王様」とすれば、真ふぐは、その姿の優しさと細やかな食味から、さしずめ「フグの女王様」。

このたび、萩・越ヶ浜のふぐ延縄船団や漁協・行政・流通関係者が中心となつて、この「真ふぐ」を、萩の新しい名物として全国に売り出すため、活発なプロモーションが開始されました。きっかけとなったのは、昨年6月、萩越ヶ浜地区の伝統祭礼時に、宴席が仕立てられた延縄漁船の甲板上で、吉村船団長(山口県漁協萩越ヶ浜支店運営委員長)と萩市長

との懇話から・・・
 ①天然真ふぐの活魚水揚げ量のほとんどがここ越ヶ浜であり、間違いなく全国トップシェアであること。

②ふぐ刺し・ちり鍋・唐揚げと、どの料理法でもトラフグと比較して食味に遜色がないこと。

③トラフグ流通量の9割以上が養殖モノであるのに対して、真ふぐは全て天然モノであること。

④そして、キログラムあたりの浜値が平均で1000円未満と、市場価格が天然トラフグ比較で格段に低価格であること。

この基礎的要件の強さを武器に、萩の固有の特産品としてブランドを確立すべく、昨年8月に急ぎよ、協議会が結成されました。昨年末には、特許庁に対して地域団体商標(地域ブランド)の出願を済ませ、3月9日にはマスコミヤ旅行社業者向けの「真ふぐ料理試食会」、3月25日には一般消費者や観光客向けに「萩の真ふぐ祭り」を計画。さらに旅行事業者向けのプレスツアー・情報交換会にも真ふぐ料理をサンプル提供するなど、集中的なPR活動を展開していきます。

並行して、市内の料理店・旅館・ホテルに働きかけ、2月~4月の時期に真ふぐ料理を提供する「旬の地魚提供店」への登録を呼びかけたところ、約30店が応募、萩を訪れる観光客が気軽に真ふぐ料理を味わえる環境も整備しつつあります。

★萩の真ふぐ祭り ▼とき 3月25日
 (日)午前10時~午後1時 ▼ところ 道の駅・萩しーまーと周辺 ▼内容 真ふぐ料理の販売、真ふぐ刺身無料接待など



秋の風物詩

雛祭り・流し雛

各家庭で雛を飾り、(心臓を模った)菱餅と(邪気を祓う)甘酒で祝うのは萩地区も同じ。ももとは、厄を人形に移し祓い川に流す厄除けの風習。新暦となった後も、萩では毎年4月3日に藍場川にて「流し雛」が行われ、女の子の健やかな成長と無病息災を祈る。2月3日～4月3日、旧久保田家住宅、青木周彌日宅、旧湯川家屋敷等、市内10会場で展示会「萩城下の古き雛たち」が開催されている。



秋の風物詩

わかめ干し

萩の沿岸部では、節分を過ぎる頃から新ワカメ漁がはじまり、漁家の軒先や海岸沿いの空地にワカメ干しの風景が見られる。新ワカメを干して細かく刻む「刻みワカメ」は、萩名物のわかめむすびの必需品。市販の刻みワカメより格段に香り高く、今でも自家製にこだわる方が多い。刻みわかめに唐辛子と刻み葱をまぜ、だいたい酢と醤油で味を調えたふりかけ状のもの、かつては手軽なおかずとして食卓に常備されていた。



秋の風物詩

節分と鯨

萩をはじめ山口県北部地方では、節分に鯨肉を食べる風習があり、現在も根強く続いている。巨大なものの象徴である鯨を食することで、チカラを貰おうとしたとされる。また大晦日にも鯨肉を食べ、こちらは「大きな年を取るように」という願いから。江戸時代後期、かつてこの地区で捕鯨が盛んであった頃の名残とされている。



秋の風物詩

磯明け

寒さが緩み日差しが暖くなる3月下旬、萩沿岸の浜に近い農村では「磯明け」と称して、家族全員で近くの磯場に弁当を持って出かける風習があった。萩の郷土料理として有名な「ぐべ汁」は、この時のご馳走。材料の嫁の皿やニナを現地調達、焚き火を起して汁を作って賞味した。農繁期前の家族団らんの年中行事。



秋の風物詩

指月城の花見

今も花見のシーズンになると大賑わいとなる萩指月城跡。春の行楽行事として古くから庶民の楽しみのひとつ。今では市販のお弁当やオードブルなどが幅をきかせているが、かつては、各グループとも自家製の幕の内、中でも欠かすことができなかったのが、萩名物のアマダイ料理であったと言われる。

萩の風物詩

その② — 早春から桜の頃まで —



秋の風物詩

星まつり【歳まつり】

萩沖に浮かぶ大島に今も引き継がれる年中行事。その年に満31歳に達する男・女の厄払いを目的としたもので、毎年大島八幡宮の春祭りに合わせて行われている。祭の前日に、該当者の男のうち、島の最も東寄りに家があり、しかも長男である人の家で紅白の餅をつく。祭当日は、男性は紋付羽織袴で、女性は留袖で盛装し神社へ参拝する。



秋の風物詩

しろうお漁

2月下旬、萩を流れる松本川の河口部で、藩政時代から続く「しろうお四手網漁」が始まる。現在は資源量の減少により、小型漁船による操業となっているが、かつては岸に四手網を仕掛け漁獲したり、目の細かいタモ網ですくったりできたほど大群が遡上したという。3月4日、萩の魚市場にて、毎年恒例の「萩・しろ魚まつり」が開催される。

萩 大志館 だより

萩大志館の仲間 東京砂漠の長州人！物産展の後の打ち上げです。



東京在住の萩出身者が集まって「ふるさとのために今できること」を合い言葉に活動している萩大志館。今月は大忙しでした！

とぶぐを食べるなど、全国区の番組内で萩をPRできました。
★参加者募集中！

萩一色の交流会「萩っ子パーティー」を開催します。萩弁で楽しく語り合います。萩弁で

▼4月14日(土) 午後2時〜4時30分 ▼Liveレストラン 青山(東京都港区南青山2・4・4南青山コアパレスB1、※萩の岸田商会のお店) ▼会費 3000円

▼申込方法

4月7日までに、萩大志館事務局(070-6479-3444、メールhagi-taishikan@hotmail.jp)中村へ

心臓病のひろくん(長門市) 米国で心臓移植手術に成功 全国から1億3千万円の募金



難病の「拘束型心筋症」を患い、米国ニューヨークのコロナピア大病院に入院していた阿波宏典くん(3歳 長門市)が、2月24日、移植手術を受けました。手術は成功し、術後の容体は安定しているということです。

拘束型心筋症は、心臓の筋肉が硬くなってポンプ機能が低下する病気で、移植しか助かる道がないと医師に診断さ

れました。日本では15歳未満の臓器提供が認められていないため、移植手術を受けるために渡米することを決意。治療費などに約1億円が必要なた

め、宏典くんの移植手術を支援しようとして、父親の秀範さんと母親のひろみさんが結婚式を挙げた萩市椿の金谷神社の宮司陽信孝さんら約30人が「ひろくんを救う会」をつくり、昨年

12月25日から1億円を目標に募金活動を展開。募金の輪は全国に広がり、2月24日現在で約1億3400万円が集まりました。

救う会の代表を務める陽さんは「ひろくんを支援しながら私たちもたくさんの大切なものをいただいた。元気にタラップに降りてくるひろくんをみんなで見守っています」と話しています。

会員からのお便り めーるぼっくす

○永松千枝子(熊本県熊本市)

先日の会報大変懐かしく拝見致しました。

萩に玉江という駅がありました。そこに下車致しましたら余りにも田舎で、こんな処はいやだと、主人を困らしました。でも私には忘れがたい処で、子どもも萩で13年振りに生まれまし

た。また有名な方々がおられた処で、独楽廻しのオジサンは、本名小野と申し、我が方のすぐ前の家で夫婦二人きりで余り近所付き合いはなく、主人も変人でしたので、酒の相手で私宅へ遊びに来ては、主人と話が合っていました。

私は95歳になり、まだまだ元気です。

※前号「萩の独楽廻し」の作者永松定先生の奥様からのお便りです。

○村上高子(大阪府富田林市)

4月には大阪指月会があります。萩の仲間と会える日が楽しみです。主人は萩が好きです。私より萩！

○野村末信(和歌山県岩出市)

萩高14期生です。厚生年金を生活費に1人暮らしです。ときどき萩高とか萩の素晴らしい景色を思い出します。

○田坂陽治(香川県高松市)

前号の小川梨と堀田誠さんの記事を読みまして、お手紙を送ります。

もう20年も前になりますが、母が存命のとき「おいしいよ」といって小川梨を取り寄せてくれてから、味を知りました。現在は、帰省した際に田万川の道の駅で買い求めて、知人に送っています。

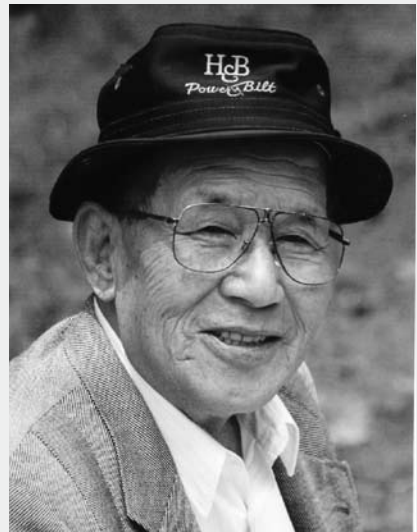
「堀田誠さん秩父宮章受章」は、永年にわたり、萩市、山口県のスポーツ界に尽力された結果でしょう。心からお祝い申し上げます。萩高の同級生でもあり、姪が萩一中時代ハードル競技で全国大会に出場した際にもお世話になりました。

また毎年、都大路をタスキでつなぐ全国高校駅伝に萩高が山口県代表として常連だった頃、選手のご父兄を乗せて先回りし、沿道でノボリ等を持って応援したことを思い出しました。私の記憶に残っているのは名前が失念しましたが、1区を1位でタスキを渡した選手がいたこと、応援した中では7位が最高でした。最近では西京高校の名前しか聞きませんが、伝統の力を発揮しての出場を心待ちにしています。京都に在住していた頃のお話です。

＝追悼＝

昭和30年代から二十数年間、旧萩商工と萩商業の硬式野球部監督と部長を務めた瀬上進氏(河添)が、1月11日腎不全のため亡くされました。享年82歳。

萩商業
瀬上進先生



「とにかくグラウンドではひどかったですよ。鬼みたいでした。でも、あの頃の子はみんなよくついてきてくれましたね」と奥様の泰子さん(やすこ)。教員との二足のわらじの監督時代、鉄拳が飛び、千本ノックも当たり前で、練習は他校の3倍。

しかし、グラウンドを離れると、部員たちが慕う「おやじ」の顔。腹をすかせた生徒をうどんな屋に連れていったり、相談事も親身になって受け入れたり。

「忙しい人で、家にはいませんでした。逆に家に居ると、どこか体の具合が悪いんじゃないかと本気で心配しました」と泰子さん。「おやじさん」と皆が誘いに来れば飲みに出かけ、有望な野球少年がいれば見に出かけ、自前のボートで大好きな

釣りに出かけと、家を留守にすることばかり。高校野球のテレビ・ラジオの解説者としても活躍していました。

人との出会い、つながりをとても大切に、萩商たちばな会(常務理事として事務局を引き受ける一方、関西の日隈広吉さんや下関唐戸魚市場の小野英雄さん(いずれも萩商業出身・故人)と全国各支部の立ち上げにも奔走しました。

「家にはいないことが当たり前前だったので。今でもふっと玄関から帰ってくるような気がします」。通夜、告別式には、OBら約600人が参列。弔電は1000通を数えました。

瀬上先生のご冥福を心からお祈り申し上げます。

ラグビー部健闘 萩工業
学校だより

昨年末に東大阪市で開催された「第86回全国高校ラグビーフットボール大会」に、山口県代表として萩工業高校ラグビー部が5年連続12回目の出場を果たしました。

1回戦は、12月28日、南北海道代表の札幌山の手高校と対戦。6つのトライを奪うなど自慢の継続ラグビーを展開し、34-0と圧勝しました。

続く2回戦は、30日に秋田県代表のシード秋田高校と対戦。後半逆転したものの再逆転を許し12-19と惜敗。「悔しいですが、内容ではシード校にも負けてなかった」と浦田信幸主将。萩工業としては最後の出場となりました。次回からは萩商工としての出場を目指します。



札幌山の手高校戦

武道館完成 萩光塩学院



欧風を連想させる10本の化粧柱、内部は木材をふんだんに使用

昨年12月16日、グラウンドの一角に武道館が完成しました。平成15年から男女共学になり、男子の剣道が必修授業になったことから、新しく建設したものです(現在男子生徒58人)。昨年7月から着工し、建設にあたっては、萩光塩OBから寄せられた「昔から萩光塩とともに歩んできたクスノキとクルミの木を切らないで」との声に配慮しました。またOBをはじめ1000人以上の方々から2100万円を超える浄財が集まりました。

空き時間には、卓球の練習場や学年別の集会など多目的に利用されています。

未来に羽ばたく若人！549人
今年3月の高校卒業生数

学校名 (クラス数)	合計	
	男	女
萩高等学校 (普通科1、理数科1)	198人	
萩商業高等学校 (総合ビジネス科1、 国際情報科1)	男 90人	女 108人
萩工業高等学校 (機械科1、電気科1、 建設工学科1)	102人	
萩光塩学院高等学校 (普通科3)	男 28人	女 74人
奈古高等学校 (生物資源学科、 生活総合科学学科1)	105人	
	男 96人	女 9人
	77人	
	男 19人	女 58人
	67人	
	男 23人	女 44人

日本海マグロの 新ブランド「見島マグロ」



(左上) 漁師・佐々木氏が見島沖で仕留めた150kg オーバーの本マグロ。青森大間が手釣りや延縄であるのに対して、見島ではトローリング竿に活きたアオリイカを餌に本マグロを狙う。
(左下) マグロのまき網船。文字通りマグロの魚群を取り囲み一網打尽に漁獲する。まき網で漁獲されるマグロの95%が産卵期に達しない未成魚であったという。
(右下) 築地市場で高い評価を受ける見島産の本マグロ。「ねっとりとした赤身の重厚な味が見島産の特徴」とは、築地のプロの弁。



昨年末から新年にかけて、各局が競って「青森県大間のマグロ」をドキュメンタリー番組で放映、ご覧になった方も多くと思います。その中で日本テレビ系列では、日本海マグロの代表格として、東京築地市場の評判が高い見島のマグロを紹介。
地球温暖化の影響で、主要なマグロ産卵場であった沖縄近海から、対馬・能登半島間の日本海に産卵場が北上している事実や、未成魚を大量に漁獲してしまう他県のまき網漁の問題点も指摘されました。特に、資源を守りながら操業する見島や壱岐の一本釣り漁に対して、一網打尽に漁獲するまき網漁については、マグロ資源の管理が声高に叫ばれる中、多くの問題を抱えていることがレポートされました。
一消費者として、そして日本有数のマグロ漁場「見島」を身近に持つ我々として、無関心ではいられない番組内容でした。

ブックレットシリーズ
萩ものがたり ⑬⑭
4月1日発売!

◆購読申込み・問合せ先
有限責任中間法人萩ものがたり編集部(萩市広報課内)
電話0838-25-3233
E-mail story@city.hagi.yamaguchi.jp



VOL ⑬
川柳中興の祖 井上剣花坊
井上剣花坊顕彰会会長
大庭政雄 監修
定価600円(税込)

川柳を民衆詩として文芸の域に高め、その精力的な活動で「川柳中興の祖」と呼ばれた井上剣花坊。この川柳界の巨人が、萩の出身であることは、地元萩市民の間でもあまり知られていませんでした。



VOL ⑭
高島北海 HOKKAI 萩とナンシー
高樹のぶ子(萩市民大学教養講座・講演録より)
定価600円(税込)

本の前半では、新川柳界の総帥と仰がれた剣花坊について、その生涯と主義主張を紹介しています。後半は、萩市内21か所にある、剣花坊の句碑を写真中心に巡る構成です。

HOKKAIとは、萩出身の画家・高島北海のこと。内務省地理局、農商務省山林局の技術官吏としてフランスのナンシーに渡り、かの地で出会ったアールヌーヴォーの巨匠エミール・ガレに多大な影響を与えます。
萩市民館で開催された作家・高樹のぶ子さんの講演「HOKKAI 萩とナンシー」の講演録をベースに、萩が生んだ偉大な画家・高島北海の生涯を辿ります。

妻の故郷にUターン

春の桜コースにて(河添～江向)



3月
から

萩八景遊覧船が運行開始!

3月1日から萩八景観光遊覧船が、4年目の運航を開始します。桜の開花時期には延長運航して桜並木を見るコース(60分)を設定します。昨年の乗客は1万5039人と好評で、今年は、発着場(棧橋・アプローチ)を堀内の旧城苑跡地に整備し、8月頃に完成の予定です。

■コース 萩城跡横の指月小橋を発着。橋本川で平安古の旧田中別邸先をUターンする約40分
■運航期間 3月1日(木)～11月30日(金)午前9時～午後5時(受付午後4時まで)
■料金 大人1200円、3歳～小学生600円
■問い合わせ 萩市観光課
(0838・25・3139)

私のお店

そば処 田波

田波 義雄 さん
美知子 さん



萩市大字東田町 ※昨秋オープン
の御成道・田町駐車場のアーケード側
TEL 0838・26・6217
営業(昼) 午前11時～午後3時
(夜) 午後5時～午後9時

◎水曜定休
※メニューは、ざるそば(600円)、
天ざる、鍋焼うどん、カツ丼、天丼
など約10種類。カウンターや座敷
など約30人が座れます。

東京都葛飾区で35年間そば屋を営んできた田波義雄さん(62歳)が、第2の人生の地を奥さんの故郷「萩」に選び、3月23日、萩でそば屋を開業しました。萩への移住のきっかけは、美知子さん(57歳)の母の世話を

すること。3年前頃から考え始め、一大決心して移り住みました。「東京のそば」を萩の皆さんに味わってもらいたいと、田町商店街の御成道・田町駐車場のそばにお店を開店しました。「そば打ちが人生」というご主人はこだわりがあります。そばは白く上品な香りの「更科そば」。そば処長野の種を、北海道で栽培、東京で製粉し、国

内でも一級品の折り紙付きで、さっぱりしたコシのある麺。つゆは、3年かけて熟成した鹿児島産の本節(かつお節)を使用。「長年お世話になった葛飾の皆さん、開店にあたって温かく迎えてくれた萩の皆さんのために頑張りたい」とご主人。「元気がとりえ」と威勢のよい奥さん。萩でおいしい江戸前のそばを食べられます。

阿武町

町がニューヨークになる日

100 GOLD FINGERS in 阿武町

5月27日(日)

阿武町・町民センター

「ニューヨークからピアノストが消えた!」と言われるほど、世界のトップ・ジャズピアニスト10人が一挙に来日する、ジャズフェスティバル史上最高に警沢なコンサート「ワンハンドレッド・ゴールド・フィンガーズ」が5月27日、一昨年に引き続き阿武町にやってきました。

東京や大阪など全国14カ所で開催されるコンサートですが、阿武町以外は全て都市部での開催。500席余りの町民センターでの開催は警沢の極みといえるでしょう。

正式チケット

販売は3月7日からですが、現在先行予約を受け付けています。前回は発売2週間で売り切れというすごい反響でした。お申し込みはお早めに!

100 GOLD FINGERS in 阿武町

「ニューヨークからピアノストが消えた」

「スペシャルゲスト」ボブ・クラシヨウ、グラディ・テイト

「ニューヨークから」

「売切れ必至! お早めに!!」



陶芸家
内村 幹雄 さん
(55歳、萩市明木在住)

◆作風は「自然」「自然体」
地元の明木小中学校から萩高校、大学は山梨大工学部応用化学科で人工ダイヤや人工サファイアなどを扱う結晶工学を学びました。昭和49年に卒業し、東京の商社に勤務、セールスエンジニアとして都市部でのサラリーマン生活を送り、その後陶芸を学ぶため、岡山県工業試験場の備前焼伝習生となりました。岡山工業試験場に県外出身者として入ったのは、私が第一号でした。

26歳で故郷に戻り、萩焼窯元(野坂窯)で6年間修行、33歳の時に、現在の工房を設け独立しました。この工房ですが、畑地だった場所を自分で造成し、建築資材も道路工事などで使用した廃材を安く分けていただいたり、大工さんと一緒に自ら組み上げた建物です。陶芸作家としての自分の作風は「自然」「自然体」という言葉に集約できると思います。作品は、ふだん使う器が中心で、毎日使ってもらえるものだけに、「飽きがこない」とい

うことが肝要だと思っています。この窓から見える山の緑や清流など、自然の風景が飽きがこないのと同じで、あまり多くを主張しない自然な雰囲気大切にしています。焼き物とそれを使われる方の相性というのは確かにあって、多くの焼き物の中から何かに惹かれて手に取る時、その焼き物が選ぶ人に語りかけているんだと思います。自分は口下手なので、いつも器に語ってもらうように、静かな想いを込めて作品創りをしているのです。

◆萩往還まつり「技・明木展」の仕掛人

広域合併の話が本格化して4年前、この明木地域がさびれていく危機感を持ち、地域の仲間たちと飲むたびにそのことが話題の中心になりました。この地域のために自分ができる事は何か、そのことを自問自答し、また仲間たちと語り合う中で生まれてきたのが、萩往還祭り「技・明木展」。自分の本業である陶芸を核に、幅広く工芸をテーマにした地域イベントです。最初の頃は、イベントの立案や地域の方々や出展者への協力要請、そして道路使用許可の申請まで、すべて自分達の手でやらなければなりませんので、本業

そつちのけで奔走しました。

今年も5月3日〜4日で第4回目を開催予定、準備に取り掛かっているところです。昨年はこの小さな明木の集落に5000人の方がお越しになりました。何よりも印象深かったのは、会場のあちこちで住民とお客様の活発な交流が見られたことです。都市部から来られたお客様とのちよつとした会話で村の人達が元氣になり、そしてこの明木地区の良さを再認識する。私自身も多くのお客さんから「ここは、まさにスローライフですね」との言葉を頂き、石州瓦の静かな町並みをほめてもらったことが、とても嬉しかったです。

◆同志3人集まれば形になる

今後の明木地区の事を考えると、進行する過疎化に対して何か手を打っていく必要があります。何よりも、若い世代が明木に戻って来るようにしたいといけないと思います。なかなか簡単なことではありませんが、少なくともこの地域に活気を付け、魅力をつけていくこと。例えば自分達が仕掛けた萩往還祭り「技・明木展」のようなイベント開催もそのひとつだと思います。

この地区には結構元氣で積極的な方が多くおられ、村興しのための活発な活動があちこちで芽を出し、実を結び始めています。2年前に開業した農産物加工販売所「つつじ」も地域の活性化に貢献し、今や農産物を持ち込む農家が270名になったと聞きます。また、普段から住民のコミュニケーションが良好で、何か始めるときの組織作りも上手だと思っています。住民それぞれが自分の得意分野や関心分野で、新しいことを始める、その時に毛利家の「三本矢」ではありませんが、同じ想いをもった人が3人集まれば形になっていくようです。本音を言えば、本業の陶芸に専念したいところですが、自分を産み育ててくれた明木のために、自分ができることをやっていく、これも自分の人生の役割だと考えています。

プロフィール

1952(昭和27)年1月1日萩市明木生まれ、明木小中学校、萩高校、山梨大学工学部。首都圏にて商社勤務後、岡山県工業試験場の備前陶芸センター入所、1978年帰郷、萩焼窯元「野坂窯」に弟子入り。1985年、現在地に開窯(ウチムラ工房)。萩往還工芸まつり実行委員長、萩市基本計画審議会委員など、地域興しにも積極的に関わる。

萩市の陶芸家 金子信彦さん
日本陶芸展で文科大臣賞



によつて大地がひび割れたような印象を与えています。

県内では初入賞



入賞作品：「地動」(直径1m)

「第19回日本陶芸展」(毎日新聞社主催)で、萩市の陶芸家・

萩博物館だより

(☎0838・25・6447)

●企画展
幕末志士たちの手紙

―山根正次コレクション―

4月8日まで

明治から大正にかけて医学者・政治家として活躍し、私立日本医学校(日本医科大学の前身)の創設にも関わった、萩出身の山根正次(1857〜1925)の集めた幕末維新期の志士たちの手紙を紹介。吉田松陰や高杉晋作らが熱い思いを込めて綴った手紙を展示します。

平成19年度企画展・特別展

(予定)

萩藩雲谷派の世界

―雪舟を受け継いだ絵師たち―

4月17日〜6月26日

雪舟の画法を受け継ぎながら、江戸の狩野派と並び称されるほどの一大流派を築いた雲谷派の歴代の優品を紹介いたします。

君と竜宮城へ

―知られざる深海への旅―

7月7日〜9月2日

未知の領域「深海」の謎を、竜宮城探検のストーリーに沿って、テーマパーク風な展示方法で解き明かしていきます。

松下村塾開塾150年

―塾生たちの幕末維新―

9月21日〜12月16日

吉田松陰が主宰した松下村塾の塾生の中で、「松門の四天王」

金子さんは、80年に九州山口陶磁器展で入賞、95年山口県文化振興奨励賞、03年山口県文化功労賞、04年には第42回朝日陶芸展で最高位のグランプリを獲得するなど活躍。実力派の一人として知られています。

金子さんの「地動」を含む同展の入賞・入選作と招待作品は、4月12〜24日に大丸ミュージアム・東京で、5月16〜21日に大丸ミュージアム・心齋橋で展示されます。

とうたわれた高杉晋作、久坂玄瑞、吉田稔磨、入江九一を中心に、彼らの生きざまを辿ります。

美しい日本のまち・萩
―旅する民俗学者―

宮本常一のまなざし

12月22日〜平成20年4月8日

昭和30年代に旧萩市、旧川上村などを歩き、膨大な写真を撮った宮本常一。彼が見た当時の「日常」から、萩の姿を再考し、将来の道を模索します。

開館時間 午前9時〜午後5時
休館日 なし

入館料 大人500円、高校・大学生300円、小・中学生100円

山口県立萩美術館・浦上記念館だより

(☎0838・24・2400)

五彩ほか、今なお最高の評価を受けている歴代の官窯磁器など約130点で迎えます。

生誕120年 富本憲吉展

6月30日〜8月19日

中国文明の東縁部にあり、大陸から日本などへの文化の主要な通り道だった煙台地区の歴史的魅力を、西周時代、春秋時代、戦国時代の青銅器、玉器など66件・145点の文物によつて紹介します。

●浮世絵展示 「木曾海道六十九次」(3月11日まで)、「名所江戸百景」(3月13日〜4月8日)、歌麿とその時代(4月14日〜5月13日)

●東洋陶磁展示 「白磁の展開」(4月8日まで)、「古染付と天啓赤絵」(4月14日〜6月17日)

平成19年度 企画展

景德鎮千年展

4月14日〜6月17日



五彩龍鳳文蒜頭壺

開窯から千年にわたるやきものづくりの流れを、白磁、青花、

近代陶芸の巨匠・富本憲吉(1886〜1963)の代表作をはじめ、留学先でのスケッチや絵手紙、自彫自摺の木版画など未公開資料を含めた約240点で富本芸術の真髓に迫ります。

ト美術館所蔵
初公開 浮世絵名品展

9月1日〜10月8日

春信、歌麿、北斎、広重などヴィクトリアアンドアルバーツ美術館所蔵の優品163点を、世界に先駆けて公開する甲冑り展。

青磁を極める 岡部領男展

10月17日〜12月6日

昭和期の陶芸界に鮮烈な印象を刻んだ孤高の陶芸家・岡部領男(1919〜1990)の足跡を辿る回顧展。

萩大賞展 ―現在形の陶芸

12月15日〜平成20年1月14日

現在を見据えて活動する陶芸家を対象とした作品の競作展。

開館時間 午前9時〜午後5時
休館日 月曜日(祝日・休日の場合は翌平日)

開館時間 午前9時〜午後5時
休館日 月曜日(祝日・休日の場合は翌平日)

情報アラカルト

関東地区

■内村幹雄 作陶展
食器を中心にした作品が展示されます。

3月6日(火)～12日(月)
東京都中央区 日本橋三越本店
(03・3241・3311)

■おいでませ山口館のイベント
・やまぐち海の幸フェア

山口県の水産加工品を集めた催し。萩市の八千代酒造による清酒の試飲販売も行われます。

3月12日(月)～17日(土)
東京都中央区日本橋2・3・4
日本橋プラザビル1階
おいでませ山口館
(03・3722・3510)

■2007「東美アートフェア春」
陶芸家 三輪華子の作品が展示されます。

3月16日(金)～18日(日)
東京都港区新橋6・19・15
東京美術倶楽部
(03・3432・0191)

■波多野英生 作陶展
3月20日(火)～26日(月)
横浜市西区高島 そごう横浜店
(045・465・2111)

■第46回日本現代工芸美術展
陶芸家 吉賀将夫、吉賀暁、中村真一の作品が展示されます。

3月26日(月)～4月4日(水)
東京都台東区上野公園
東京都美術館
(03・3823・6921)

■第2回山陰・山陽味街道
3月28日(水)～4月3日(火)
神奈川県藤沢市 小田急百貨店藤沢店
(0466・26・6111)

■岡田裕 作陶展
4月17日(火)～23日(月)
埼玉県さいたま市 そごう大宮店
(048・646・2111)

5月22日(火)～28日(月)
千葉県千葉市 千葉そごう
(043・245・2111)

■萩焼の造形美 人間国宝 三輪壽雪の世界(巡回展)
萩焼の重要無形文化財保持者(人間国宝)で、96歳の今なお現役の陶芸家・三輪壽雪。その80年におよぶ作陶生活の集大成として、茶碗や花入、置物など約180点が展示されます。

4月21日(土)～6月24日(日)
茨城県笠間市笠間
茨城県陶芸美術館
(0246・70・0011)

■日本工芸会正会員陶芸展
陶芸家 岡田裕、野坂康起、波多野善蔵、波多野英生、納富晋の作品が展示されます。

5月29日(火)～6月3日(日)
東京都中央区 日本橋三越本店
(03・3241・3311)

関西地区

■山口県味覚の旅
2月28日(水)～3月6日(火)
京都市下京区 京都高島屋
(075・221・8811)

■大阪指月会
関西地区の萩高同窓会。
4月15日(日) 正午
大阪市北区 大阪弥生会館
(06・6373・1841)

■第53回日本伝統工芸展(巡回展)
陶芸家 岡田裕、玉村登陽、野坂和左、波多野善蔵、波多野英生の作品が展示されます。

3月3日(土)～11日(日)
松山市一番町 三越松山店
(089・945・3111)

■現代の陶芸3
十二代三輪休雪など現代を代表する陶芸家の作品を展示。
4月8日(日) まで
山口市 山口県立美術館
(083・925・7788)

■歴史常設展示 木戸孝允
5月6日(日) まで
山口市 山口県立山口博物館
(083・922・0294)

下瀬信雄写真展「結界Ⅱ」



■傳宿の企画展
・春のカジュアルとセミフォーマル展
3月16日(金)～27日(火)
萩市南古萩 傳宿天十平
(0838・26・6474)

■彩陶庵の企画展
・萩・4人のうつわー3
若手陶芸家 金子司、濱中史朗、中島大輔、野坂和左の作品が展示されます。
6月9日(土)～17日(日)
萩市呉服町 彩陶庵
(0838・25・3110)

3月18日(日)～4月1日(日)
山口市下市町8・17・1・A1
01 アテリア セレノ
※JR湯田温泉駅から徒歩2分
(083・923・4141)

■金子信彦 40周年記念作陶展
6月20日(水)～26日(火)
下関市 下関大丸
(0832・32・1111)

■萩城下の古き雑たち
4月3日(火) まで
会場 旧久保田家住宅、旧山中家住宅、菊屋家住宅、青木周彌旧宅、旧田中別邸、梅屋七兵衛旧宅、旧湯川家屋敷、伊藤博文別邸、田町商店街、萩博物館

■ギャラリー草莽の企画展
濱中孝子によるシルバー&ゴールド・ジュエリー、いいだみつ子のトンボ玉アクセサリー、内田淳子のハンドメイドBAGが展示されます。
5月18日(金)～22日(火)
萩市土原
長屋門珈琲内ギャラリー草莽
(0838・26・2933)



問い合わせ 萩市観光課
(0838・25・3139)

出版情報

■映画「長州ファイブ」コミック化

月刊少女コミック誌「comic's・LOG(ピースログ)」で2007年3月号(2月10日発売)から連載スタート。新しい日本をつくるためにながしやらに生きた5人の青春を、作家ユキムラが描いています。連載とともに、監修を担当する萩市特別学芸員・一坂太郎のエッセイも掲載されています。定価 490円

問い合わせ 株式会社エンターブレインB's・LOG編集部 (03・3265・7183)

■「吉田松陰 人と言葉とひとすじの螢火」産経新聞でも連載スタート

産経新聞社のタブロイド紙「SANKI EXPRESS

新規加入会員ご紹介

(12月22日～2月26日)

加入者8人

安藤明さん (愛媛県松山市)
岡昭夫さん (山口県秋芳町)
白神允和さん (萩市)
磯村邦夫さん (大阪府池田市)
吉村玲子さん (萩市)
江本隆一さん (大阪府羽曳野市)
鈴木敏子さん (神奈川県横浜)
吉崎光敏さん (大阪府阪南市)

SS」の連載「吉田松陰 人と言葉とひとすじの螢火」が、2007年1月1日から産経新聞にも連載されています。同紙のサイトでの閲覧もできます。

激動の幕末を駆け抜けた松陰の人生が、松陰の言葉を軸に描かれています。

ホームページ <http://www.sankei.co.jp/>

テレビ情報

■「真矢みぎの坂本龍馬ミステリー」人間・龍馬の知られざるスゴイを求めて

YABなど中四国のテレビ朝日系列局4局が合同制作した特別番組。元宝塚トップスターの女優・真矢みぎが、案内人として、龍馬ゆかりの地を巡り、知られざる謎に迫ります。

松陰神社、有備館、萩城跡で萩ロケが行われました。

放送予定日 3月5日(月)午後7時～7時54分

放送局 テレビ朝日系列中四国ブロック(YAB山口朝日放送、

広島ホームテレビ、eat愛媛朝日テレビ、KSB瀬戸内海放送)

■土曜ドラマ「星室ホスピタル」

萩出身の俳優・松本実が、女優・菊川怜とともに準主役として出演。

放送予定日 4月7日から毎週

土曜日(全6回)午後9時～9時58分
放送局 NHK総合

プレゼント

漁協直販店「萩魚」から、有毒部を除去したミガキの状態の「萩の真ふぐ」を2名様様にプレゼント。

申込方法 官製ハガキに住所、氏名、電話番号、近況などを明記のうえ、萩ネットワーク協会プレゼント係まで。締切は3月31日。

お知らせ

4月から萩・石見空港のダイヤが変わります。

※現行ダイヤの羽田発6:55便の出発時間が30分繰り下がり、7:25出発になります。

◆新ダイヤ◆

東京	⇒	萩・石見		⇒	東京
出発		到着	出発		到着
7:25	⇒	8:55	9:25	⇒	10:55
14:00	大阪經由 着 15:05 発 16:00	17:05	17:30	大阪經由 着 18:30 発 19:00	20:10

萩・まちじゅう

3/4 4/8 「味」めぐり

問い合わせ 萩市観光協会 (0838・25・1750)

萩・しろ魚まつり

▽とき 3月4日(日)午前10時～午後3時

▽ところ 道の駅・萩シーマール周辺

▽内容 しろ魚おどり食い無料サービス、しろ魚即売など

萩の酒まつり

▽とき 3月17日(土)午後3時～5時30分

▽ところ 千春楽味楽亭(堀内)▽内容 萩の酒試飲会、萩の酒

と肴を楽しむ会
▽参加料 男性5000円、女性4000円

萩の真ふぐ祭り

▽とき 3月25日(日)午前10時～午後1時

▽ところ 道の駅・萩シーマール周辺

▽内容 真ふぐ料理の販売、真ふぐ刺身無料接待など

料理対決

どっちも料理しよう

▽とき 3月25日(日)

▽ところ 萩市田町商店街

▽内容 萩の特産屋台村(午前10時～午後4時)、和菓子コンテスト(午前11時～正午)、どっちも料理しよう(午後1時～2時)

休)午前10時～午後3時

▽萩城跡・指月公園、萩博物館

問い合わせ 萩市観光課 (0838・25・3139)

萩往還まつり「技・明木展」

▽5月3日(木・祝)、4日(金・休)午前10時～午後5時(4日は午後4時まで)

▽萩往還交流施設「乳母の茶屋」(明木)、周辺民家の軒先など

問い合わせ 萩往還芸まつり実行委員会(0838・55・0817)内村

GW中のイベント

萩焼まつり

▽5月1日(火)～5日(土・祝)午前9時～午後5時30分

▽萩市民体育館

問い合わせ 萩商工会議所 (0838・25・3333)

萩・大茶会
▽5月3日(木・祝)、4日(金・

長州ファイブ

東京のゆかりの地を巡る③

近代日本の礎を築いた長州ファイブ。英国に密航留学後は、東京を中心に活躍しました。それでは東京にあるゆかりの地を巡ってみましょう。



ひのきまち

桧町公園

【港区赤坂】東京メトロ日比谷線六本木駅より徒歩7分



東京ミッドタウンに 安らぎのオープンスペース

流行の最先端をいく町・六本木に、かつて江戸の長州藩の一大拠点である長州藩下屋敷があり、2,000人の藩士や奉公人が生活していた。屋敷内には、見事な桧林があったため、「桧屋敷」と呼ばれていた。昨年7月に野村萩市長も植樹している。この場所に3月30日、東京ミッドタウンがオープンするが、下屋敷の庭園の一部は、桧町公園として昔と変わらぬ都会のオアシスとなっている。

東海寺大山墓地・井上勝墓

【品川区北品川】京浜急行本線北品川駅より徒歩8分



▽首都の玄関口という、日本最高のロケーションに建つ銅像。



鉄道記念物に 指定されている墓

井上 勝(1843~1910)

死後も鉄道を見守りたいという勝の遺言に従ってこの地に葬られたという井上勝の墓は、東海道線と山手線が交差する大山墓地内にある。この墓は、鉄道記念物に指定されており、自然石の墓碑のそばを新幹線が疾走していく。

東京駅・井上勝銅像

生涯を鉄道に捧げた井上勝は、「鉄道の父」と称えられ、その銅像が東京駅丸ノ内口のレンガ造りの駅舎を背に中央口広場に建っています。

辛口酒の肴にぴったり 平太郎の姿干し

萩発 旬の味覚便り

近似種のヒイラギとともに一般的には雑魚の代表格で、体表の粘液がヌルヌルと気持ち悪いこともあって、釣りの外道として嫌われています。食べてみるとこれが意外と美味しい。萩の地元ではこの平太郎を姿のまま丸干しにしたものを、軽く炙って酒の

標準和名はオキヒイラギ、なぜ平太郎と呼ぶのかは今のところ不明。古くはヒラゴ(平子)とも呼ばれていました。萩名物のひとつに金太郎(標準和名・ヒメジ)があります。この金太郎と対をなす形で、萩の居酒屋のおつまみメニューの定番です。多分、「平」の字は平べったい体のカタチが由来と思われる。

ヘイタロウ 平太郎 (オキヒイラギ・ヒイラギ)



るまで煮て戻し、甘味噌に木ぶして小鉢にしたもの、安い魚なので、日常のおかずとしてよく食卓に上ったようです。その他、比較的大ぶりのものは刺身や煮付け・塩焼き・唐揚げも意外と美味です。

肴として供されま
す。辛口の日本酒
の当てとしては最
高の部類かと思
います。
姿干しは軽く
炙ってそのまま戴
きます。郷土料理
のひとつに「ひら
この味噌煮」があ
り、これは姿干し
を水で柔らかくな

■人の動き(平成19年1月末日)

萩市:人口/58,432人 男/26,928人 女/31,504人 世帯数/24,643世帯
阿武町:人口/4,178人 男/1,868人 女/2,310人 世帯数/1,638世帯